

園だより

2023 年 10 月号

2023 年 10 月 2 日発行

フードロス

残暑が長く続き、ようやく涼しく感じる日も増えてきました。暑すぎて外で遊べない日もあった9月でしたが、ようやく散歩にもちょうど良い季節がやってきたようです。戸外遊びが大好きな子どもたちなので、たくさん外に出て、たくさん体を動かして遊んでいきたいと思います。

先日、本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物を何とか減らしたいという思いから、フードロス“保育園の残食量を減らす”というねらいで園内研修を行いました。毎日の給食で、子どもたちが苦手なメニューだったり、食べきれなかったりして残ってしまうことがあります。それぞれのクラスでは大した量の残食ではないように思えるのですが、全クラス分を合わせると大量の残食量になっている現状がありました。クラスでは園全体の残食量を把握していなかったので、園全体の残食量の数日分を画像で見られるようにしました。それを見た職員は大変驚いていました。日頃から、個々の食べきれる量を把握して配膳するなど、各クラスで配慮はしていたのですが、さらに明日から出来そうなことを話し合い、子どもたちに食べ物の大切さを伝えたり、食に興味を持ってもらえるようにメニューの説明や食材の説明をしたりする等すぐにでも出来る事を確認しました。そして翌日の給食では、早速残食量が減ったのです。

以前テレビで「最後の1粒まで食べるのよ。そうしたくても、最初の1粒も食べられない子どもが世界にはいます」というコマーシャルがありましたが、世界には、おなかが減ったら給食の時間がきて当たり前のように食べることが出来ない子どもたちがたくさんいることを、私たち大人が心にとめ、子どもたちに伝えていくことも必要な事なのだろうと感じました。まずは大人が、食べられることに感謝する気持ちを持ち、子どもたちにもその気持ちが伝わっていくと良いですね。

主任 大滝忍



「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。」

ヨハネによる福音書：10章16節